

本の事

芥川龍之介

青空文庫

各国演劇史

僕は本が好きだから、本の事を少し書かう。僕の持つてゐる洋うとぢ綴の本に、妙な演劇史が一冊ある。この本は明治十七年一月十六日の出版である。著者は東京府士族、警視庁警視属ぞく、永井徹と云ふ人である。最初の頁ぺエジにある所蔵印を見ると、嘗かつていしかはいつは石川ここう一口の蔵書だつたらしい。序文に、「夫演劇それは国家の活歴史にして、文盲もんまうの早学問なり。故に欧洲進化の国ありに在ては、縉紳しんしん貴族皆之を尊重す。而しかうしてその隆盛りうせいに至りし所以ゆゑんのものは、有名の学士羅希らきに出いでて、之れが改良を謀はかるに由よる。然るに吾邦わがくにの

学者は夙に李園（原）を鄙み、措て顧みざるを以て、之を記するの書、未嘗多しとせず。即文化の一具を欠くものと謂可し。（中略）余茲に感ずる所あり。寸暇を得るの際、米仏等の書を繙き、その要領を纂訳したるもの、此冊子を成す。因て之を各国演劇史と名く」とある。羅希に出た有名の学士とは、希臘や羅馬の劇詩人だと思ふと、それだけでも微笑を禁じ得ない。本文にはさんだ、三葉の銅版画の中には、「英国俳優チオフライ空窖へ幽囚せられたる図」と云ふのがある。その画が又どう見ても、土の牢の景清と云ふ気がする。チオフライは勿論 Geoffrey であらう。英吉利の古代演劇史を知るものには、これも嘖飯に堪へないかも知れない。次手に本文の一節を引けば、「然

るに千五百七十六年女王エリサベスの時代に至り、始めて特別演劇興業の爲め、ブラツク・フラヤス寺院の不用なる領地に於て劇場を建立こんりふしたり。之を英国正統なる劇場の始祖とす。而て此はしかしこレスター伯に属し、ゼームス・ボルベージ之が主宰しゆさいたり。俳優にはウイリヤム・セキスピアと云へる人あり。當時は十二歳の兒童なりしが、ストラタフォールドの学校にて、羅甸ラティン並に希臘ギリシヤの初学を卒業せしものなり」と云ふのがある。俳優にはウイリヤム・セキスピアと云へる人あり！三十何年まへか前の日本は、髻髻はうふつとこの一語に窺うかがふ事が出来る。この本は希臘きこうしよ書でも何なんでもあるまい。が、僕はかう云ふ所に、捨て難いなつかしみを感じてゐる。もう一つ次手ついでに書き加へるが、僕は以前物好きに、明治十年代の

小説を五十種ばかり集めて見た。小説そのものは仕方がない。しかしあの時代の活字本には、当世の本よりも誤植が少い。あれは一体世の中が、のどか長閑だつたのにもよるだらうが、僕はやはりその中に、篤実な人心が見えるやうな気がする。誤植の次手ついでに又思ひだしたが、何時いつか石印本の王建わうけんの宮詞きゆうしを読んでゐたら、「御池ぎよち水色すゐしよく春来しゆんらい好いよし、しよしよ処ぶん分りう流すはく白ぎよく玉のきよ渠よ、くんわう密くん奏わうにみつそうしつきにいるをする ひとをよんであひともなつてくんきよをあらふ君王きんわう知入ちいづ月つき、喚人をよんであひともなつてくんきよをあらふ相あひともなつてくんきよをあらふ伴あひともなつてくんきよをあらふ洗あひともなつてくんきよをあらふ裙あひともなつてくんきよをあらふ裾あひともなつてくんきよをあらふ」と云ふ詩の、入月が入用と印刷してあつた。入月とは女の月経の事である。(詩中月経を用ひたのは、この宮詞に止まるとどかも知れない。)入用では勿論意味が分らない。僕はこの誤あやまりにぶつかつてから、どうも石印本なるものは、一体に信用出来なくなつた。何なんだか話が横

道へそれたが、永なが井あゐ徹てつ著てつの演劇史以前に、こんな著述があつたかどうか、それが未いに疑ぎ問もんである。未いにと云つても僕の事だから、別に探して見た訣わけではない。唯誰かその道の識者が、教を垂たれて呉れるかと思つて、やはり次手ついでに書き加へたのである。

天路歷程

僕は又漢訳の Pilgrim's Progress を持つてゐる。これも希き觀くわん書しよとは称なされなない。しかし僕にはなつかしい本の一つである。ピルグリムス・プログレスは、日本でも訳して天路てんろ歴れ程きていと云ふが、これはこの本に学んだのであらう。本ほん文もんの訳もまづ正しい。所し

よく

々の詩も韻文訳である。

「路旁生命水清流

天

路かうじんよろこびしばらくとどまる行 人 喜 暫 留ひやくくわきくわえつらくにきようす
百果奇花供悦楽

吾 儕

さいはひにえたりこのほのいう

幸得 此埔遊」——大体こんなものと思へば好い。面白い

のは銅版画の挿画に、どれも支那人が描いてある事である。Bea

utiful の宮殿へ来た所なども、やはり支那風の宮殿の前に、支那

人の Christian が歩いてゐる。この本は清朝の同治八年（千八

百六十九年）蘇松上海華草書院の出版である。序に

「かんぼうさんねんにいたりちうこくのししやそけうしとさんやくはじめてなる至咸豊三年中国士子与耶穌教師参訳始成」とある

から、この前にも訳本は出てゐたものらしい。訳者の名は全然不

明である。この夏、北京の八大胡同へ行つた時、或清吟小

班の妓の几に、漢訳のバイブルがあるのを見た。天路歷程の読

者の中にも、あんな麗人があつたかも知れない。

Byron の詩

僕は John Murray が出した、千八百二十一年版のバイロンの詩集を持つてゐる。内容は Sardanapalus, The Two Foscari, Cain の三種だけである。ケエンには千八百二十一年の序があるから、或は他の二つの悲劇と共に、この詩集がその初版かも知れない。これも検^{しら}べて見ようと思ひながら、未^{いまだ}にその儘打^{うつちや}遣つてある。バイロンはサアダナペエラスをゲエテに、ケエンをスコットに獻じてゐる。事によると彼等が読んだのも、僕の持つてゐる詩集のやう

に、印刷の拙つたない本だったかも知れない。僕はそんな事を考へながら、時々唯気まぐれに、黄ばんだペエヂを繰つて見る事がある。僕にこの本を贈つたのは、海軍教授豊島としまさだ定氏である。僕は海軍の学校にゐた時、難解の英文を教へて貰つたり、時にはお金を借して貰つたり、いろいろ豊島氏の世話になつた。豊島氏は鮭さけが大好きである。この頃は毎日晚酌ぜんの膳ぜんに、生鮭なまざけ、塩鮭しほざけ、粕漬かすづけの鮭さけなぞが、代る代る載のつてゐるかも知れない。僕はこの本をひろげる時には、そんな事も亦また思ふ事がある。が、バイロンその人の事は、殆ほとんんど殆んど念頭に浮べた事がない。たまに思ひ出せば五六年以前に、マゼツパやドン・ジュアンを読みかけた儘、どちらも読まずにしまつた事だけである。どうも僕はバイロンには、縁えんなき衆しゆじ

生やうに過ぎないらしい。

かげ草

これは夢の話である。僕は夢に従いとこ姉の子供と、三越みつこしの二階を歩いてゐた。すると書籍部と札ふだを出した台に、Quarto版の本が一冊出てゐた。誰の本かと思つたら、それが森もり先生の「かげ草」だつた。台の前に立つた儘、好いい加減に二三枚あけて見ると、希ギ臘リシヤの話らしい小説が出て来た。文章は素直すなほな和文だつた。「これは小金井こがねるきみ子女史の訳かも知れない。何時いつか古今ここんきくわん奇観きくわんを読んでゐたら、村田春海むらたはるみの竺つくし志しぶ船ね物もの語がたりと、ちつとも違はない

話が出て来た。この訳の原文は何かしら。」——夢の中の僕はそんな事を思つた。が、その小説のしまひを読んだら、「わか葉生ばせい訳」と書いてあつた。もう少し先をあけて見ると、今度は写真版はすが沢たくさん山さん出て来た。みんな森先生の書画だつた。何でも蓮なんの画はと不二見西行ふじみさいぎやうの画とがあつた。写真版の次は書簡集だつた。「子供が死んだから、小説は書けない。御寛恕ごくわんじよ下さい」と云ふのがあつた。宛あては畑耕はたかういち一氏いちぢだつた。永井荷風氏宛ながあかふうのも沢たくさん山さんあつた。それは皆どう云ふ訣わけか、荷風堂かふうどう先生と云ふ宛名あてなだつた。「荷風堂は可笑をかしいな。森先生ともあらうものが。」——夢の中の僕はそんな事も思つた。それぎり夢はさめてしまつた。僕はその日五ご山館さんくわん詩集しじふに、森先生の署せられた字を見てみた。それから畑はたか

耕一ういち氏に、煙草を一箱貰つてゐた。さう云ふ事が夢の中に何時か織りこまれてゐたと見える。Max Berbohm の書いた物に自分の一番集めたい本は、本の中の人物が書いたと云ふ、架空の本だと云ふのである。が、僕は「新聞国」の初版よりも、このQua
ま版の「かげ草」が欲しい。この本こそ手に入れば希覯きこう書である。

(大正十年十二月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

本の事

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>